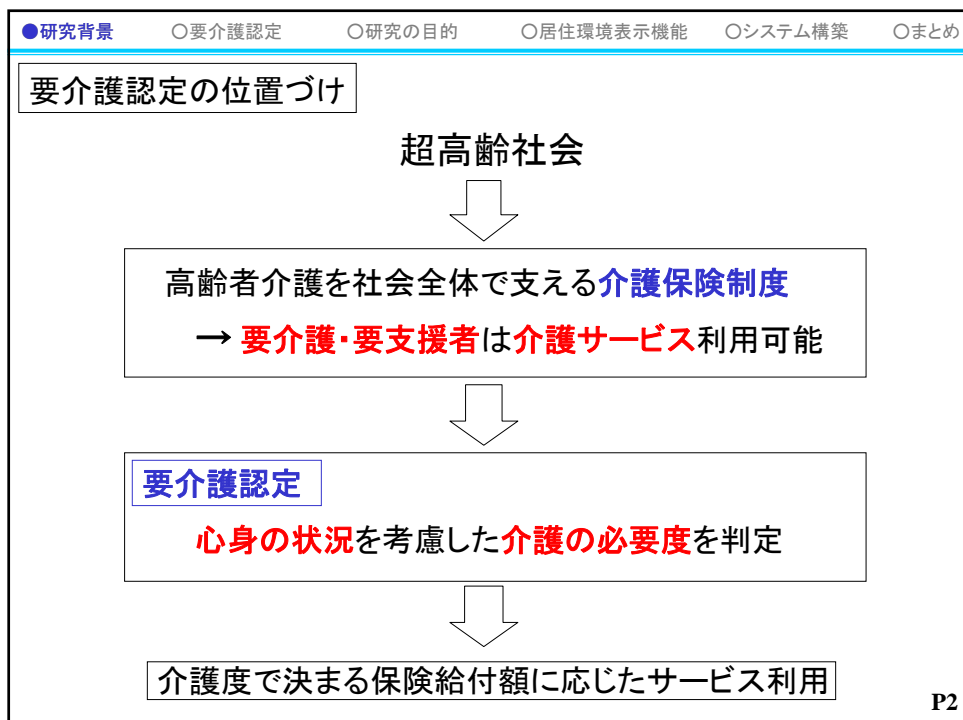


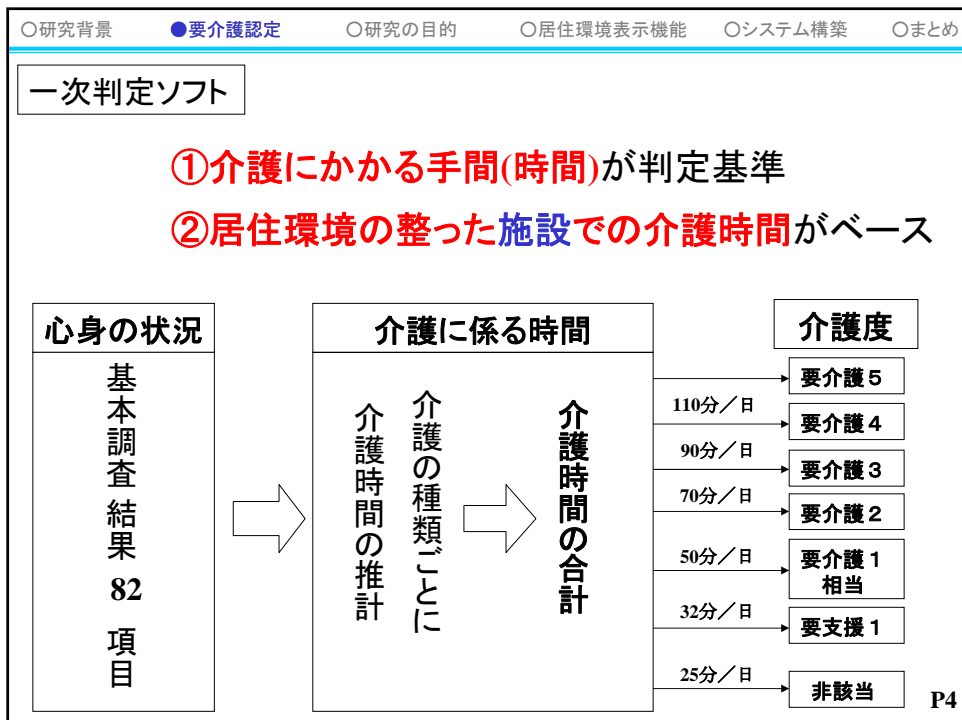
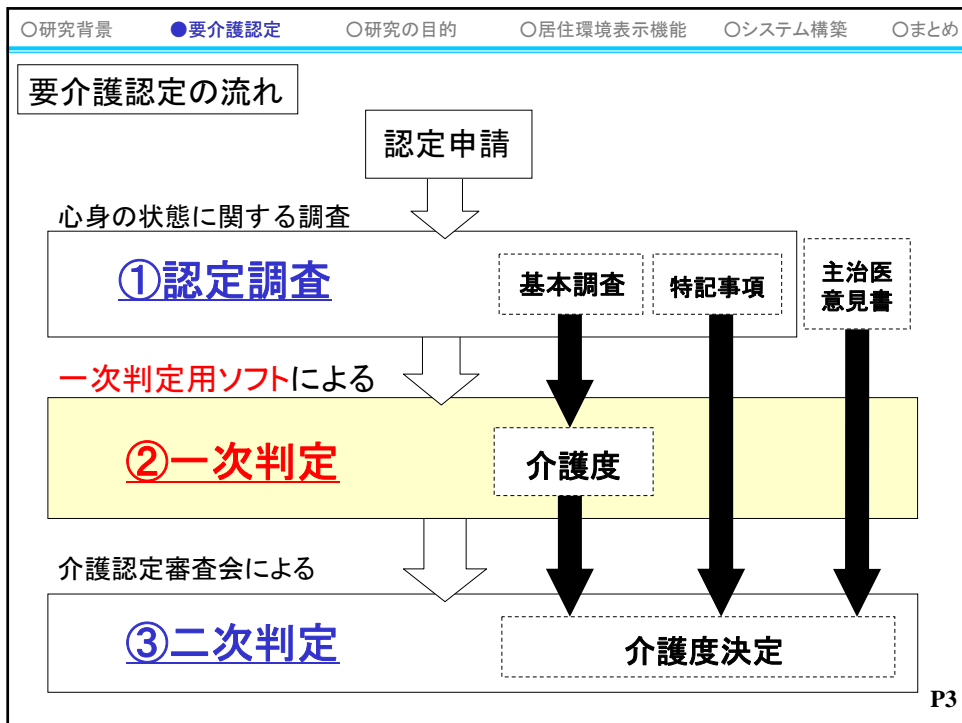
高齢者居住環境を考慮した介護度認定システムの再構築

Restructuring of Authorized System of Nursing Standard
in Residence Environment for the Elderly

野村 正憲（隠れ本間研究室）

P1





○研究背景 ○要介護認定 ●研究の目的 ○居住環境表示機能 ○システム構築 ○まとめ

要介護認定の問題点

- ① **在宅での介護の手間**が考慮されていない
- ② **特記事項**の記載内容の充実が求められる

↓

研究の目的

現行の一次判定ソフト + **新たな機能**

↓

高齢者の状況をより正確に把握できる認定システム

P5

○研究背景 ○要介護認定 ●研究の目的 ○居住環境表示機能 ○システム構築 ○まとめ

研究の方針

平成18年4月改訂版 **一次判定ソフト**

+

- ① **介護の手間**に係る **居住環境**に関する調査項目
(**居住環境表示機能**)
 - ⇒ **在宅での介護の手間を考慮する**
- ② 特記事項に具体例を登録・選択
(**特記事項登録機能**)
 - ⇒ **特記事項の記載内容の充実**

P6

居住環境表示機能の方針

① 介護が必要になる「行為」を軸に居住環境を問う調査項目

→「歩行」「睡眠」「排泄」「食事」「入浴」「更衣」「整容」



レーダーチャートの軸

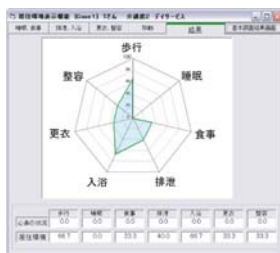
② 認定調査で使える実用的な調査項目

③ 介護度や居住場所に係らない調査項目

④ 瞬時に状態把握できる表現方法

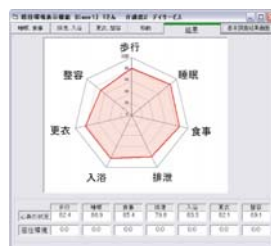
→レーダーチャートで「居住環境」と「心身の状況」を表示

レーダーチャートの表示方法



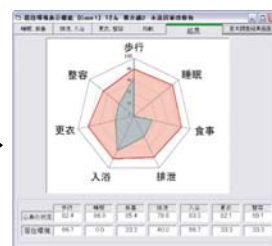
居住環境の調査項目

+



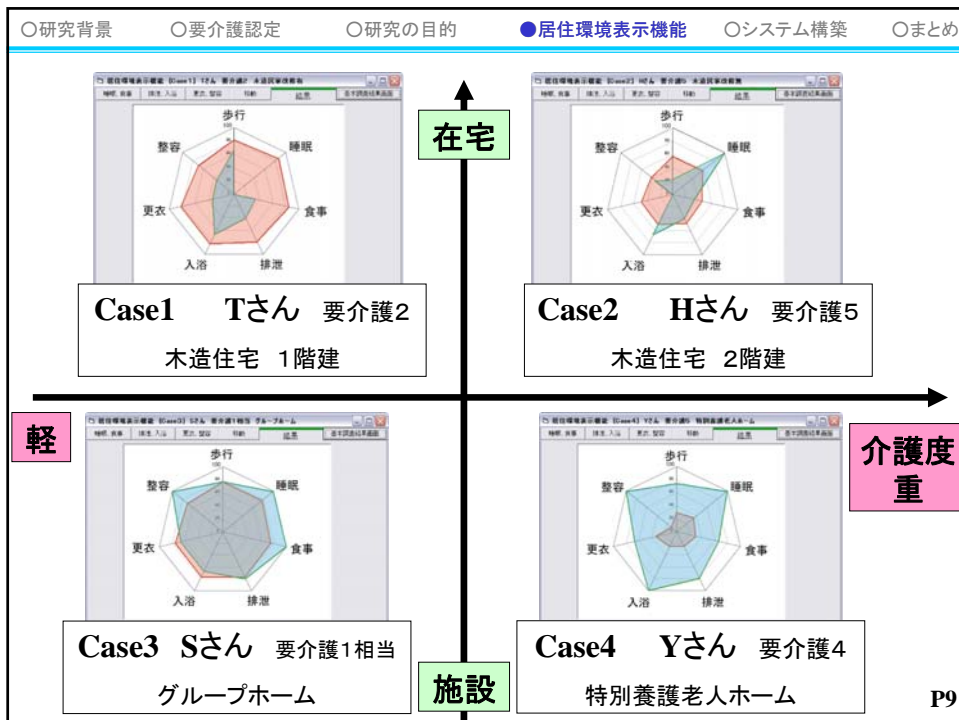
心身の状況
(基本調査結果)

→



レーダーチャート表示

→ 軸の値が高いほど介護の負担にならない



○研究背景 ○要介護認定 ○研究の目的 ○居住環境表示機能 ●システム構築 ○まとめ

システムの構築

要介護認定
一次判定ソフト
居住環境状況表示機能付

kgzou@ma-ni.ac.jp

新規調査員登録
対象者データ入力
データ閲覧、判定結果更新、データ出力
終了

図 GUI表示画面

- 一次判定機能
- +
- 新機能

- ① 居住環境に関する調査項目
- ② レーダーチャートによる居住環境表示機能
- ③ 特記事項例の選択・登録

P10

まとめ

- ①従来一次判定ソフト機能の維持
- ②居住環境表示機能により、**居住環境の違いを可視化**
- ③居住環境表示機能により、**居住環境と心身の状況の落差**を表示
- ④特記事項例の選択・登録により**特記事項の記載内容の充実化**
(特記事項の提案は、有効性を伺うために検証が必要)

今後の展開

本システムをテスト使用し、システムの妥当性を検証・改善していく。

P11

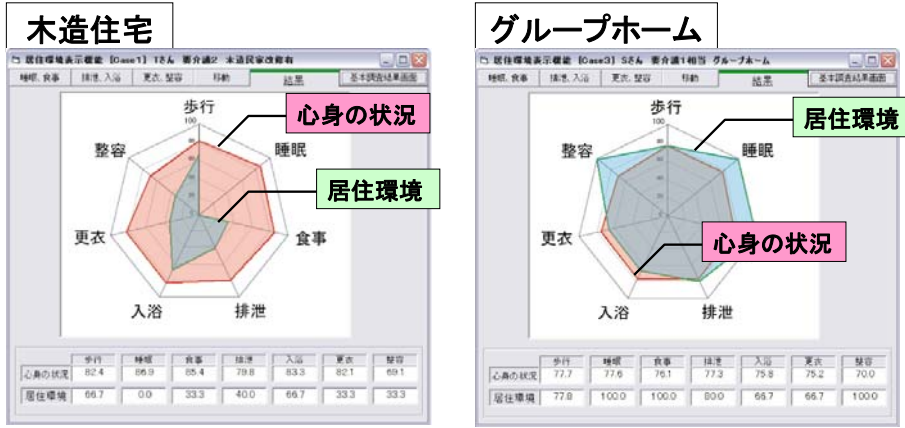
高齢者居住環境を考慮した介護度認定システムの再構築

Restructuring of Authorized System of Nursing Standard
in Residence Environment for the Elderly

居住環境構成学講座 建築計画研究室 野村 正憲

P12

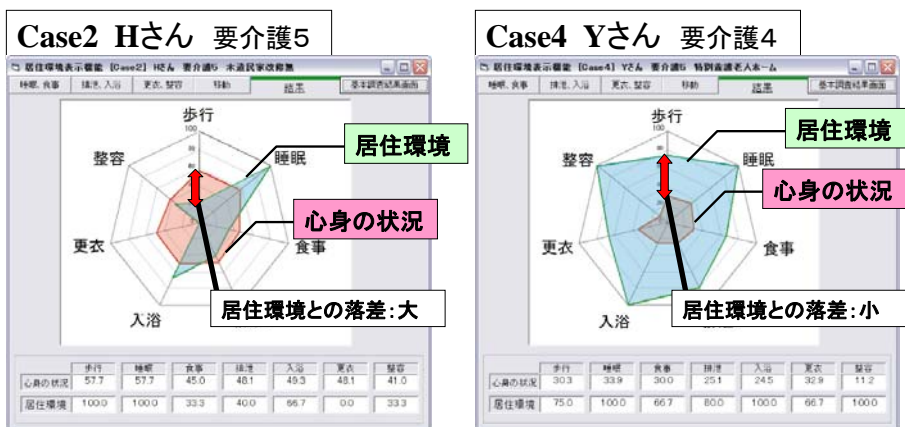
具体的事例の考察①



➡ 居住環境の違いを可視化

P13

具体的事例の考察②



心身の状況と居住環境の落差 ➡ 介護の手間が生じる

P14